

令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	60	学校名	池新田高等学校	校長名	中村 正義
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣を確立し、豊かな心を育む。	他者の話をしっかりと聴くことができる生徒 80%以上	95.6%	A	落ち着いた態度で話を聞いている様子が見られる。良い習慣が身に付いてきていると感じる。
		身だしなみを自ら正す生徒 90%以上	97.1%	A	全体的に生徒は自ら身だしなみを整えることをしてくれた。継続していきたい。
		自ら挨拶をする生徒 90%以上	93.1%	A	挨拶の習慣が身についていると感じる。より気持ちの良い挨拶ができるようにしていきたい。
		自他の人権が尊重されていると実感する生徒 90%以上	92.1%	A	多くの生徒は自分が尊重されていることを実感しながら生活できている。全ての生徒が実感できるようにしたい。
		健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 80%以上	88.0%	A	目標を達成し、昨年度と比較しても高い意識を持つ生徒が増加している。
		朝食摂取率 90%以上	92.8%	A	学年によるばらつきが大きい。引きつづき啓発に努めたい。
		欠席率 1.5%以下 遅刻率 0.8%以下	欠席率 2.4% 遅刻率 0.8%	B	長期欠席者を除くと欠席率は1.5%となり、おおむね目標を達成できた。欠席の多い生徒に対する早めのケアを心掛けたい。
		共生・共育から学ぶことが多いと実感する生徒 80%以上	78.2%	B	各種行事において分校生徒とかかわる機会が増え、おおむね満足できる状況にある。新たな取組を検討したい。
		読書活動を通して心が豊かになったという生徒 60%以上	83.0%	A	毎朝のMTでの読書がクラスでしっかり行われている結果と思われる。心を落ち着かせる意味でもMTでの読書は本校にとって大切である。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ	基礎学力の確実な定着と主体的に学ぶ態度を育成する。	学びの基礎診断等を活用して、基礎学力が向上したと実感する生徒 80%以上	68.0%	C	基礎学力を向上させるために、学習習慣を定着させる必要がある。スタディサプリ等の効果的な活用を検討したい。
		プロジェクト等の ICT 機器を活用した授業を行っている教員 90%以上	81.4%	B	一人一台端末として Chromebook を導入し、ICT 機器の活用は確実に進んだ。生徒の成長を促す活用を検討したい。

様式第3号

	観点別評価の実施を通して生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員 80%以上	85.2%	A	生徒の実態把握及び評価方法の研究を通じて、着実に授業改善が進んでいる。今後も継続していくことが重要である。
	授業中に教員が褒めたり励ましてくれたりすると感じる生徒 80%以上	88.4%	A	ボイスシャワーを意図的に行うことを強要せずとも、久我先生の研修内容が教員の指導に浸透している現れである。
	生徒の到達度に応じた授業を実践している職員 90%以上	85.1%	B	観点別評価による指導評価方法の変化、ICT の積極的な導入により、到達度に応じた授業にまで対応できていないことが課題である。
	授業に意欲的に取り組む生徒 90%以上	90.4%	A	日々の授業の様子からも納得のできる数値である。意欲的に取り組んだ結果、資質能力を身に付けられた実感を持つことが次の課題である。
	OJT チーム職員の授業を参観する職員 90%以上	77.7%	C	レッツゴーウィークを蔑ろにしてしまった結果であるように感じる。教員数の減少により空き時間も少ない中で、どのような方針にするかが課題である。
	年間 5 冊以上本を読んだ生徒 50%以上	60.7%	A	MTの読書活動の成果と思われるが、もっと達成率をあげたい。毎朝、静かに読書できる環境をつくることが重要である。
	各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分行われていると答える生徒 90%以上	95.3%	A	本年度もグローバルハイスクール事業との連携で充実した進路行事を実施することができた。ただし、多岐に渡る行事の精選は必須であると考えている。
	一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行っていると答える生徒 80%以上	93.1%	A	昨年より 5 ポイント上昇しており、進学チューター制や丁寧な就職指導が実を結んでいる。
	生徒主体でしぶき祭や体育大会などの行事が行われると答える生徒 80%以上	95.7%	A	担任の先生方の指導や生徒会の働きかけにより、生徒が主体的に取り組めるようになった。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ウ	社会の一員としての自覚を持ち、自らの進路を切り拓く力を育む。	学習支援ボランティア定員充足率 100%	100%	A	定員を満たす応募はあったが、1年生の希望者が少ないため、新たな募集方法を模索したい。
		池高チャレンジ&サポート事業申請数 2 件以上	50% (1 件)	B	声掛けを継続していく。

様式第3号

		地域探究学習を通じて、地元に対する魅力を発見し働くことにやりがいや喜びを感じたことができた と答えた生徒80%以上	95.7%	A	シアワセミライカイギの実施やグローバルハイスクール事業との連携により、地元との関わりを通して探究活動を充実させることができた。
--	--	--	-------	---	---

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
エ	学校行事や部活動等を通してたくましい力や豊かな感性を培う。	部活動に積極的に参加する生徒の割合80%以上	89.1%	A	部活動顧問の先生方のきめ細かな指導ができており、生徒も意欲的に活動している。
		年5回以上生徒表彰を行う。	3回	B	各学期の終業式時に実施した。
		芸術鑑賞教室を通して心が豊かになったという生徒70%以上	95.5%	A	今年度は落語で生徒の体験もあって好評だった。生徒の実態に合った内容の業者を選定することが重要である。
		校内の美化に努める生徒90%以上	96.0%	A	清掃への取り組みは向上している。続けてごみの放置をなくすよう指導していきたい。
		相談室が使いやすいと感じる生徒70%以上	89.8%	A	相談室だよりを発行するなど、更に相談体制を充実させたい。
		支援を必要とする生徒の事例を共有し、チームで支援を行っていると感じる教員70%以上	81.4%	A	引き続き情報を各担当で共有し、支援を行ってほしい

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
オ	安心して安全して生活できる校内環境整備を行う。	防災訓練により避難行動を理解し、防災意識も高まっていると答える生徒80%以上。	84%	A	第一回・二回訓練ともに感染症対応のため、十分な訓練を実施できていない。現状に合った訓練を模索する必要がある。
		地域防災に参加したと答える生徒70%以上	48.4%	B	参加者を限定している地域が多いため、学校として積極的に参加を促すことができないのが現状である。
		いじめが原因となった不登校0件	0件	A	いじめが原因なものはないが、人間関係の悩みからの不登校生徒はいた。保健課や相談室と連携を強化し、指導したい。
		先生を信頼する生徒70%以上	81.8%	A	前年度同様の水準を達成することができた。今後も指導と支援の両輪を大切にしたい。

様式第3号

		重大な交通事故0件	0件	A	重大な事故はなかったが、交通指導切符を切られる生徒が増加しており、注意喚起する。
		1日体験入学、オープンスクール、学校説明会への中学生、保護者の満足度90%以上	99%	A	過去のアンケート結果をもとに年々改善し、内容を充実させた。来校者からの意見も好評であった。来年度は校内ツアーを改善する。
		施設・整備は安全に整備され使いやすく整備されていると答える生徒の割合80%以上	82.5%	A	日常的な点検や委託業者による施設設備点検結果に基づき、不具合箇所について危険度・緊急度の高い箇所から修繕を行った。大規模に修繕が必要な箇所については継続的に県への予算要求を行い、改善を図っていく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
カ	地域と連携する開かれた学校づくりを推進する	P T A 総会出席率50%以上	38%	B	昨年度より出席率は上昇したが、今後も総会の内容を検討していく。
		P T A 活動は活発であると答える保護者・教員70%以上	70%	B	文化祭・マラソン大会はP T A の協力のもと、実施することができた。しかし、縮小していくP T A 活動の現状を見据え、今後の活動のあり方を模索する。
		地域貢献、地域活動に何らかの形で参加する部活動の割合100%	77.4%	B	コロナ禍の影響で地域との繋がりを持つのが難しかった。シーバインズとの連携も視野に入れていきたい。
		進学後も含め、地域に戻ってきたいと思う生徒80%以上	73.8%	B	地域に対する関心は高く、現在の居住地に対し愛着を持っている生徒は多くみられる。
		中学校時代、本校の広報活動が学校選択の参考となったと答える新入生80%以上	86.9%	A	学校HPの更新や「池高TIMES」の発行は高校選択のために参考になったと共に身近な話題を掲載することにより親近感を得る広報資料となった。
		監査指摘事項0件	0件	A	監査における指摘事項は0件で、適正に事務処理が行われた。事務の適正執行に努める。
		職員室施錠時間21時以前	平均施錠時刻 20:32 (8月を除く)	A	すべての月で21時以前に職員室を施錠できた。
		県実施調査のストレス値(学校全体)が県平均を下回る。	ストレス値 県平均86 本校81	A	すべての項目について県平均か、それ以下であった。今後一層個別の教職員の勤務状況の把握に努める。

